

授業科目名	子ども家庭支援の心理学	担当教員名	松井 明子
科目区分	教職・保育に関する科目	施行規則に定める 科目区分 等	保育の対象の理解に関する科目
必修・選択/単位数	必修 / 2単位 (30時間)	授業方法/担当形態	講義 / 単独
開講学年/学期	1年 後期 (3-4期) / 年間開講数 2講座	特記事項	
授業の概要 及び 全体目標	①生涯発達の見点から乳幼児期～高齢期に至るまでの心身の発達について学ぶ。 ②子どもと家庭に対する包括的な視点を養い、子育て家庭をめぐる現代の社会的状況と課題について理解を深める。 ③生涯発達心理学に関する基礎的知識の習得にとどまらず、事例やグループディスカッションを通じて実践へと繋がる学びを獲得する。		
到達目標	(1)生涯発達に関する基本的知識を修得し、子どもの発達とその特徴、年代別の発達課題について理解している。 (2)現代における家族・家庭の意義と機能について理解している。 (3)子育てを取り巻く社会的状況について理解している。 (4)多様な家庭、特別な配慮を要する家庭について理解し、適切な支援を行うことができる。 (5)子どもと家族の心の健康に関わる問題について理解し、適切な支援を行うことができる。		
テキスト	「子ども家庭支援の心理学 演習ブック」松本峰雄 監修（ミネルヴァ書房）		
参考書・ 参考資料等	「完全カラー図解 よくわかる発達心理学」渡辺弥生 監修（ナツメ社） 「最新図解 よくわかる発達心理学」林洋一 監修（ナツメ社） 「発達心理学で読み解く保育エピソードー保育者を目指す学生の学びを通してー」若尾良徳・岡部康成 編著（北樹出版） 「新版 幼児期の発達障害に気づいて・育てる完全ガイド」黒澤礼子 著（講談社） その他、毎授業前に使用レジュメを配布します。		
成績評価の方法	理解度・到達度チェック及びレポート（筆記形式） 50％、各回コメントシートの提出20％、受講態度20％、事前学習課題10％ レポートについては、課題の意味を理解し要求するところを的確に捉えた内容であるか、 テキストだけでなく参考資料も踏まえてまとめているかを重視して評価します。 受講態度では、授業への参加状況（発言、質問、グループワークでの貢献度）を重視します。各種課題は提出期限を厳守します。		
授業外（事前・事後）学習の方法、オフィスアワー等	事前学習は授業内で指示する。事後学習はコメントシートを提出。 オフィスアワー：授業終了後または質問事項を記載して学務室経由で提出。		
授業計画	授業の内容		到達目標番号
第1回	【オリエンテーション】講義の流れと目的、その他受講生の心構えなど 【生涯発達とライフサイクル】生涯発達における心と体の変化について学ぶ		(1),(4),(5)
第2回	【乳幼児期から学童期前期にかけての発達】愛着形成 以降3回にわたって各発達過程の様相及び特徴について学ぶ		(1),(4),(5)
第3回	【学童期後期から青年期にかけての発達】小1プロブレムと中1ギャップ ”		(1),(4),(5)
第4回	【成人期・老年期にかけての発達】発達課題とサクセスフルエイジング ”		(1),(4),(5)
第5回	【家族システム・家庭の意義とその機能】 子どもにとっての家族・家庭の働きについて考える		(2)
第6回	【家族、家庭の理解①】 家族関係・親子関係について考える		(2)
第7回	【家族、家庭の理解②】 子育て経験と親としての育ち、子育てから学ぶ親の成長について考える		(2)
第8回	【子育て家庭に関する現状と課題①】 少子化・情報化社会など子どもを取り巻く環境の変化と現代社会における家族・家庭の姿について考える		(3),(4)
第9回	【子育て家庭に関する現状と課題②】 ライフコースと仕事・子育て、キャリアと子育てなどワーク・ライフ・バランスについて考える		(3),(4)
第10回	【子育て家庭に関する現状と課題③、関係機関との連携・協働】 養育不安や貧困、ヤングケアラーなど多様な家庭について理解し、保育ニーズについて考える		(3),(4)
第11回	【子育て家庭に関する現状と課題④、関係機関との連携・協働】 障害や外国にルーツがある子ども、虐待が疑われる子どもなど特別な配慮を必要とする家庭について理解し、保育ニーズについて考える		(3),(4)
第12回	【子どもの心の健康】 子どもの健全な育ちについて考える		(4),(5)
第13回	【家庭支援における保育者の役割】 これまでの学びを踏まえ、事例から保育者ができる家庭支援について考える		(4),(5)
第14回	【障害受容とその支援】 障害の受容と保護者支援、さまざまな障害を抱える子どもたちについて考える		(1),(5)

授業計画	授業の内容	到達目標番号
第15回	【保育者としての心の健康、授業全体の総括】 多様な子ども・家族との関わりにおける保育者自身のメンタルヘルスとセルフケアについて考える、まとめと振り返り	(1),(2),(3),(4),(5)